

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	美しい街づくりにつながる街路樹づくりについて
助成事業者	(一社) 日本造園建設業協会宮崎県支部
代表者	支部長 下湯一弘
<p>(目的)</p> <p>街路樹には街の第一印象となる景観の機軸としての役割があり、街への来訪者の目に初めに飛び込んでくる景観が街路樹である。景観以外にもヒートアイランド現象抑制や潮害、騒音、植栽地の貯水機能による洪水対策など住民の日常生活にも深くかかわっています。また街に緑があるという心理的安心感によるストレスの軽減などの効果もあり街路樹は必要不可欠なものとなっています。</p> <p>しかし美しい街路樹といえるものが減っているのが現状です。また樹木は生き物であるため一気に形を変えてしまうと見た目の美しさはもちろん、樹勢が弱る原因にもなり美しくない街路樹を増やすこととなります。美しくない街路樹とは、統一美に欠けるもの、道路空間に対し樹幹が小さく緑量に欠けるもの、樹形が悪いもの、舗装の持ち上げ(根上がり)などがあります。美しくない街路樹は景観だけでなく安全性にも問題があります。そういった美しくない街路樹を減らし街の景観を向上するために、景観にあった街路樹づくりのための植栽台帳・樹勢・植栽場所・樹木の状態・植栽間隔などの現状調査・原因究明・改善方法を調査研究し、街路樹が街の景観へもたらす効果の研究を目的とする。</p>	
<p>(概要)</p> <p>美しい街づくりのための美しい街路樹づくりの基盤となる剪定管理台帳に関する研究</p> <p>現在管理されている街路樹の生育状態、管理方法、植栽場所、植栽間隔、周辺の状態などを確認し、今後の管理方法などの検討材料となる剪定管理台帳の基礎の作成を行った。そのためモデル路線として県道25号線(高千穂通)と県道341号線(宮崎港宮崎停車線)を設定しケーススタディを元に剪定管理台帳を作成し、剪定管理台帳の目標値を元に剪定を行った。</p> <p>この作業を毎年繰り返し最終目標値を目指し調査・剪定を行い、剪定管理台帳に厚みをもたせ今後の街路樹管理への利用を目指す。</p>	